

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	特発性膜性腎症と膜性ループス腎炎の患者における糸球体係蹄上皮側の病因抗原の発現と差異について (B22-191)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部腎臓内科 講師 和田幸寛
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・ 目的	<p>膜性腎症 (MN) は腎臓に免疫関連物質が沈着して大量の蛋白尿が出現する病気です。この MN には原因不明で生じる特発性膜性腎症 (PMN) と他の病気や治療で使用された薬剤などが原因で生じる二次性膜性腎症 (SMN) があり、SMN の代表的なものとして全身性エリテマトーデスによる膜性ループス腎炎 (MLN) が知られています。この PMN と MLN は症状や組織所見が非常に似ていますが、病気が発症する原因として腎臓の糸球体と呼ばれる構造の表面にそれぞれホスホリパーゼ A2 抗体 (PLA2R) と Exostosin1 と 2 (EXT1/2) という蛋白質が沈着していることが近年報告され、それら沈着した蛋白質を詳しく調べることが PMN と MLN の鑑別に有用であるとされています。しかし、PMN の糸球体に PLA2R が沈着せずに EXT1/2 が沈着する症例や SMN の糸球体に PLA2R が沈着するとした症例なども報告されており、MN における PLA2R や EXT1/2 の糸球体への沈着パターンには未だ確定的な結論が得られていません。</p> <p>そこで、我々は皆さんの血液および尿の検査結果、腎生検の所見を詳細に解析し、提供して頂いた腎組織中の PLA2R および EXT1/2 の発現強度や沈着様式を評価して、MN における PLA2R と EXT1/2 の意義を明らかにする目的で本研究を行います。</p>
調査データ 該当期間	2012年4月1日から2022年11月30日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間中に腎臓病 (血尿や蛋白尿、腎機能障害など) で北里大学病院腎臓内科へ入院し、以下2つに同意され腎生検を受けられた方 「経皮的腎生検」「手術・検査等で採取された組織の寄贈及び診断、教育、研究のための使用についての説明書」
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報として、腎生検で採取させて頂いた腎組織の一部を試料として使用します。更に、2012年4月1日から2022年11月30日までの診療録に記載された病名、病歴、既往歴、年齢、身体所見、血液や尿の検査結果、腎生検結果、治療歴なども参照させていただきます。
試料/情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は医学部腎臓内科学の講座研究費を用いて行うため、研究対象者に経済的負担は生じません。また、研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されており、本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位:北里大学 医学部腎臓内科学 講師 担当者:(フリガナ) 和田 幸寛 (ワダ ユキヒロ) 電話: 042-778-8111</p>
備考	